

目 次

1. Ver9.2 の新しい点	・ ・ ・ 2
2. 試用制限	・ ・ ・ 2
3. はじめに	・ ・ ・ 3
4. 使用環境	・ ・ ・ 3
5. 概要	・ ・ ・ 3
6. フォルダについて	・ ・ ・ 4
7. 文字の入力	・ ・ ・ 5
8. 他のアプリケーションへの転送	・ ・ ・ 6
9. 発音変換 茜ボタンの内容	・ ・ ・ 7
10. 単語帳の使い方	・ ・ ・ 8
11. トレーニングの方法	・ ・ ・ 10
12. ツール	・ ・ ・ 10
13. 設定画面について	・ ・ ・ 11
14. Q & A	・ ・ ・ 12
15. 個人情報保護について	・ ・ ・ 13
16. おわりに	・ ・ ・ 13
17. 参考文献	・ ・ ・ 13

■□■ Ver9.2 の新しい点 □■

1. 対応する PC の最小画面サイズを幅 740、高さ 700 から、幅は同じで高さを 600 まで対応できるようにしました。(主画面の高さは 570 ピクセルまで小さくできます)

- ・サイドメニューの「画面オプション」の位置を変更し、よく使う「下伸び」を表面にしました。
- ・サイドメニューの「クラス選択」表面に選択中のクラスルーム名を表示するようにしました。
- ・サイドメニューの「単語帳オプション」に「SmallFont」チェックボックスを加えました。チェックを入れると、画面サイズの小さい PC でも単語帳メニューと単語帳リストの行数を多くできます。
- ・トレーニングモードの画面の調整

2. 主画面の 1 行発音エリアの表示、非表示をメニューで選択できるようにしました。

- ・画面の小さな PC でタイ文字を多く表示したい場合にお使い下さい。

3. 小さなバグフィックスと改良

- ・メッセージの表示位置など。

■ 試用制限 ■

- 1) 1 つの単語帳フォルダに作れる単語帳の数 : 5 個
- 2) 1 つの単語帳に登録できる単語の数 : 15 単語
- 3) 1 度に転送できる文字数 : 10 文字
- 4) 発音変換できるタイ文字の数 (茜ボタン) : 15 文字
- 5) Cut&Copy などクリップボードを使う操作 (機能制限)
- 6) 使える単語帳フォルダ : 3 個
(ライセンスを購入されると 18 個のフォルダが使えます)

1. はじめに

単語帳機能付きのタイ語入力ソフト KakiThai が新しくなりました。今まで文字と発音に強いアプリの路線で来ましたが、これからはそれに加えトレーニングできるアプリを目指すようにしました。SNS などで得た生のタイ語を、簡単に単語帳に保存し、空いた時間にトレーニングでそれらを身につけられるようになります。是非、使ってみてください。

なお、大幅な作りなおしをしたのでバグがあるかもしれません。お気づきの点がありましたら作者にメールでご連絡頂けると嬉しいです。(メールアドレスはマニュアルの最後にあります)

2. 使用環境

- ・ 画面（ディスプレイ）のフォントサイズ（DPI スケール）： 100%から 125%まで
- ・ 日本語を母国語としない方にも使って頂けるように、インターフェース（基本言語）を英語にできるようにしました。
- ・ 対応 OS： Windows 10, Windows 8, 8.1, Windows 7, Windows Vista
- ・ 対応する PC の最小画面サイズ： 幅 740×高さ 600 ピクセル （小さめのノート PC でも OK）
（主画面は高さ 570 ピクセルまで小さくできます）

3. 概要

（1）使い方

- ・ KakiThai を起動したら、Windows のタイ語キーボード（Kedmanee）を呼び出すので、すぐにタイ語を入力できます。（なお、Windows の設定-時刻と言語からタイ語キーボードを追加すると他のアプリでもタイ語を入力できるようになります。やっておくことをおすすめします。）
- ・ タイ語の長文を作成する場合は「文字入力」ページをお使いください。
- ・ 単語帳を作成したり、トレーニング用の問題を作る場合は「単語帳」ページ。
- ・ 単語帳を用いたトレーニングをする場合は「トレーニング」ページです。
- ・ よく使うオプションの変更は入力エリアの右にあるサイドオプションをお使いください。
- ・ ソフトウェア全体に関するカスタマイズなどはメインメニューの「オプション」「設定」です。
- ・ 主画面の 1 行発音エリア（カナや発音記号を表示するエリア）が不要な場合、メインメニューで「表示」「一行発音エリアを表示する」を選ぶと非表示になります。これはトグルです。
- ・ 画面の単語リストを大きくしたい場合、サイドメニューの「画面オプション」の「下伸び」チェックボックスにチェックを入れ、画面をドラッグして大きくして下さい。「下伸び」チェックを外して、画面を大きくするとタイ語入力エリアが大きくなります。

(2) フォルダについて

1) 単語帳フォルダ：

各自のドキュメントフォルダの下の (Gianluca¥KakiThai) の下にあります。

今回クラスルームという範疇を作りその下に bookA, bookG, bookS の3つのフォルダを置くことで、用途に応じて多くの単語帳を扱いやすくしました。なおクラスルームは Class 0 から Class5 まで6つあります。試用で使えるのは Class0 ですが、ライセンスを購入されますと Class1~Class5 も使えるようになります。

プレインストールの Class0 の中のサンプル単語帳はバージョンアップの時に更新される可能性がありますので、使われる時は Class1 から Class5 のクラスルームが使われたほうが良いと思います。

2) プログラムフォルダ：

- ・ インストーラーを起動するとプログラムは Windows のプログラムフォルダーに解凍されます。
(C:¥Program Files(x86)¥Gianluca¥KakiThai)・・・Windows 10 の場合

3) テキストフォルダ：

- ・ 主画面の[ファイル]メニューで保存する時のテキストファイルは各自のドキュメントフォルダの以下のフォルダに保存されます。
- ・ (Gianluca¥KakiThai¥usr)

4) システムフォルダ：

- ・ オプションを記憶する環境設定ファイルは以下のフォルダに保存されます。
(C:¥ユーザー¥お名前¥App Data¥Roaming¥Gianluca¥KakiThai¥Sys)

5) テーブルフォルダ：

- ・ 発音記号入力用の候補やデータベースファイルは以下のフォルダに保存されます。
(C:¥ユーザー¥お名前¥App Data¥Roaming¥Gianluca¥KakiThai¥Tbl)

(3) アンインストール

- ・ アンインストーラーが付いています。スタートボタンからすべてのプログラムを選択し [Gianluca][KakiThai][Uninstall KakiThai]を選んで下さい。
- ・ なおアンインストーラーで削除されるのは C ドライブの ProgramFiles¥Gianluca¥KakiThai 以下のフォルダ内のファイルのみです。完全に削除したい場合、すなわち単語帳や KakiThai の環境設定ファイルを保存しているファイルも削除したい場合、上のフォルダデータを参考にエクスプローラーで手動で削除お願いいたします。

4. 文字の入力

【タイ語】

- (1) KakiThai ではタイ語を入力するエリアでは Windows のタイ語キーボード (Kedmanee)、日本語を入力するエリアではお使いの日本語のキーボードに自動で切り替わります。
- (2) タイ語キーボードのとき、ファンクションキーの F3 を押すと、KakiThai を起動する前に標準のキーボードとして使っていたキーボードに切り替わります。英数字、記号などを入力する場合にお使いください。
- (3) 単語帳ページで右端の PAD ボタンを押すと、ソフトキーボードが表示されます。

【発音記号】

- (1) 発音記号は単語帳ページで入力可能です。
- (2) 画面右の PAD ボタンを押し、現れた PAD で「発音記号」をお選びください。
- (3) PAD のトリガーキー（アルファベット大文字と記号）を押すと、候補が表示されます。そこで、候補をクリックすると
- (4) キーボードからの操作の場合、主画面の発音記号入力エリアでトリガーキーを押すと候補が表示されます。スペースキーで候補選択を移動させ、該当する記号でエンターキーを押すか、候補の数字キーを押すと記号を入力できます。
- (5) 候補の記号を選択状態にした時、標準では記号の名称やユニコード値のほかにタイ語に特化した説明が表示されます。
- (6) これを音声学で用いられる説明に変更可能です。サイドオプションの「発音オプションで」をクリックし、「発音記号フル」にチェックを入れ OK ボタンを押して下さい。その場合、自動で候補ファイルも変更され、IPA（国際音声記号）をできるだけ多く組み込んだ候補が表示されるようになります。
- (7) なおツールメニューから「候補編集ツール」で、表示する説明を変更可能です。ファイルは CSV 形式のファイル、候補ファイルは、各トリガーキーに対して最大 9 個の候補を設定するファイルです。このファイルは以下のフォルダにあります。

(C:\¥ユーザー¥お名前¥App Data¥Roaming¥Gianluca¥KakiThai¥Tbl)

- (8) いつでも、私どもの提供するテーブルファイルに戻せます。「メニュー」「オプション」「設定」で表示された画面で、「リセット」のタグを選び、「復元」ボタンを押します。

5. 他のアプリケーションへの転送

KakiThai ではクリップボードを介して文字を他のアプリケーションに転送します。その際、リッチテキストや数値文字参照化などフォーマットの変換も転送モードメニューで指定できるので便利です。

なお転送対象は、タイ語と発音記号です。

【手順】

- ① KakiThai と、Word やブラウザなどターゲットとなるアプリケーションを起動します。
- ② KakiThai の上部の転送ボタンの左にある自動貼り付けチェックボックスにチェックが入っているのを確認して下さい。
- ③ KakiThai にタイ語を入力したら、ターゲットとなるアプリの入力したい個所をクリックします。すると KakiThai の自動貼り付けチェックボックスの上の○が赤くなります。そして KakiThai のタイトルバーにターゲットとなるアプリの名称が表示されます。これで準備完了です。
- ④ KakiThai に戻り、転送ボタン（またはファンクションキーF9 キー）を押します。するとタイ語が転送されます。

--- もし転送されない場合 ---

- 1) 転送先を KakiThai が認識していない可能性があります。転送先アプリの貼り付けたい場所をもう1度クリックし、KakiThai の主画面のタイトルバーに転送先の画面のタイトルが表示されているか確認して、もう1度転送ボタンを押してみてください。

2)

転送タイミングが合わない場合が考えられます。そのような場合でも、転送ボタンを押したらタイ語をクリップボード上に置きますので、手動でアプリに貼付けできます。手動でアプリに転送するとは、転送したい場所をクリックした後、転送先のアプリのメニューで「編集」「貼り付け」を行います。ないしは、Ctrl+V でも貼り付けられます。

6. 発音変換（茜ボタンの内容）

（１）概要：

- タイ語のテキストから発音記号とカナを得ることができる機能です。
- 操作はファンクションキーの F7 でできます。
- 主画面では、「カナ」ボタンが押されている時はカタカナ、「カナ」ボタンを戻した時は発音記号に変換し、タイ語エリアの上の 1 行のエリアに結果を表示します。
- 単語登録画面と単語編集画面では、タイ語テキストがある時、同時に発音記号とカタカナを出力します。
- 発音記号に間違いがあった場合は、発音記号 PAD で修正して下さい。

（２）オプション：

- サイドメニューの「発音オプション」で指定できます。

1) 発音記号の表記方法：（A タイプが標準）

A タイプ： 母音の末子音[y][w]を用いる。口を横に引くウを[ʍ]を用いる。

B タイプ： 母音の末子音[i][o]を用いる。口を横に引くウを[ʉ]を用いる

2) 下線不使用：音節区切りのアンダーバーを使用しません。

3) 矢印を不使用：カナの中の声調を表す矢印を使用しません。

7. 単語帳の使い方

(1) 概要

- ・ 単語帳はユニコードのカンマ区切りのテキストファイルです。
- ・ 単語帳フォルダは各自のドキュメントフォルダの下の Gianluca¥KakiThai¥Class0 から Class5 の下にある3つのフォルダを指します。すなわち bookA, bookG, bookS です。
- ・ 単語帳とプログラムは独立しています。単語帳フォルダに単語帳ファイルを入れると自動で読み込みます。ですので他の方と単語帳の受け渡しが容易です。

(2) 単語帳を作る

- ・ 主画面の右下、単語帳メニューの下の「新規作成」ボタンを押します。
- ・ ここでは最低でもタイトルを入力する必要があります。
- ・ グループは単語帳メニューで近接表示するためのものです。なくても問題ありませんが合ったほうが単語帳を管理しやすいです。なお単語帳メニューではグループの項目をクリックするとソート可能です。
- ・ 問題タイプはトレーニングで使うためのものです。普通に使う場合は標準の「単語理解」を選んで下さい。問題タイプを変更すると、発音記号項目を別の用途で用いることになります。
- ・ 「作成」ボタンを押すとファイル名を指定するダイアログが現れます。デフォルトでタイトル名が付いていますが変更可能です。拡張子は (utx) ですが不要です。仮に付けても1つしか付きません。
- ・ メインメニューの「単語帳」「単語帳のプロパティ変更」で、後からでもタイトル、グループ、問題タイプを変更できます。

【問題タイプに関する解説】

1) 単語理解：

- ・ 日本語に対してタイ語の単語が1つ登録されているタイプです。
- ・ 発音記号欄は発音記号として用います。
- ・ 名称が単語暗記でなく単語理解なのは、トレーニング中答えが分からない時、ただ単に正答を見て納得するだけでなく、理解するためのコメントを単語の備考欄にどんどん加えて理解を深めて覚えることを目的としているからです。トレーニングで間違えた時は、加筆ボタン（ファンクションキーF8）を押してどんどんコメントを書き加えることをおすすめします。

2) 空欄補充：

- ・ 空欄補充問題を自分で作ることは少し面倒ですが、教本などの章末には必ずあるので是非作って欲しい問題です。
- ・ 発音記号欄を、タイ語の空欄のある問題文として用います。

3) 作文問題：

- ・ 定形の決まりきった文は、作文問題タイプでなくても単語理解の問題タイプでも実現できます。
- ・ しかし、作文しかたに関する指示文、例えばどの単語を使うとか、話者が男性であるとか状況の説明が必要な場合、作文問題の問題タイプを選んで下さい。
- ・ この場合、発音記号欄は日本語の指示文として使います。指示文の中にはタイ語も使えます。

(3) 単語を登録する

- ・ 主画面で登録ボタン（F4 キー）を押してください。登録画面が現れます。日本語とタイ語は必須です。追加登録（最下行に追加する）と挿入登録（挿入したいアイテム番号を指定する）が可能です。
- ・ 発音カナと発音記号は茜ボタン（F7 キー）を押すと自動で表示されます。
- ・ 発音記号とカナを確認し、間違いがあったら発音記号 PAD を表示させ訂正して下さい。

(4) 単語を編集（加筆）する。

- ・ 一度登録した単語の編集を行う場合、単語リストで該当単語をクリックして選択した後、編集ボタン（F5 キー）を押します。
- ・ 変更後「更新」ボタンを押すと変更内容が反映されます。

(5) 単語の削除、移動など

- ・ 単語の削除と移動は、該当単語を単語リストで選択した後、マウスの右ボタンでポップアップメニューが出ますので、そこで選ぶと専用の画面が出ますので移動先などを指定して下さい。
- ・ そのほか単語帳でできる機能は以下のような内容です。
 - ① ソート： 単語リストの項目名をクリックして昇順降順のソートができます。（トグル）
 - ② 日本語とタイ語の項目の位置変更： 単語帳メニューの日越、越日ラジオボタンで切替可能。
 - ③ トレーニング結果の表示： トレーニングで正解した単語、間違えた単語の背景色付け可能です。色付けしたくない場合、「トレーニング・オプション」で「記憶しない」を選んで下さい。

(6) 単語帳検索

- ・ 主画面の「検索」ボタン（ないしは F6 キー）を押します。
- ・ 検索対象のクラスルームと単語帳フォルダを指定します。
- ・ Class0 の bookG フォルダにプレインストールの辞書は入っています。
- ・ 検索項目（日本語やタイ語、備考など）を指定し、検索キーワードを入力、最後にエンターキーで検索を開始します。
- ・ 検索結果から、いずれかの項目をクリックし、「この単語を編集」ボタンを押すと、該当単語の編集画面を開くことができます。

8. トレーニングの方法

(1) 概要

- ・ 単語帳に登録されている単語が10個以上の場合にトレーニング用の問題として正式利用できます。
(10個未満の場合、重複して10問の問題を作ります。)
- ・ 単語帳を選び、START ボタンを押すと、登録されている単語をランダムに並び替え、問題提示順を決めます。10問1勝負で、勝負がある限り、重複せずに問題を解くことができます。
- ・ 開始後は、解答、判定、次の問題への移行、すべてキーボードで操作できます。
- ・ 問題タイプとして「単語理解」「空欄補充」「作文問題」の3つがあります。それぞれに適した画面やフォントサイズを定め問題を提示します。
- ・ 問題タイプについては8ページに解説がありますので、参考になさってください。

(2) トレーニングの手順

- ① 単語帳ページで、単語帳フォルダを定めます。(必要に応じクラスルームも)
- ② トレーニングページに切り替え、問題(単語帳)を選びます。
- ③ 問題提示部がせりあがります。START ボタンを押してください。エンターキーでOKです。
- ④ 最初の問題が表示されます。解答欄にタイピングで答えて最後にエンターキーで判定です。
- ⑤ 10問終わると、点数が確定し、点数に応じたメッセージとイラストが表示されます。
- ⑥ もし問題に間違いがあった場合や問題にコメントを加えたい場合は、加筆ボタン(F8 キー)を押してください。トレーニングを停止し、単語帳ページに移動、該当単語を編集画面で開きます。
- ⑦ サイドオプションのトレーニング・オプションでトレーニング結果を背景色で記憶できます。

9. ツール

(1) コード値チェッカー

- ・ 入力エリアにある文字列のユニコード値を16進か10進で表示します。文字数カウントもします。

(2) 単語帳コピーツール

- ・ 単語帳のバックアップを取る場合や、他の人と単語帳の受け渡しを行う場合に用いるツールです。フォルダー単位で単語帳ファイルのコピーを行うことができます。

(3) 候補編集ツール

- ・ 発音記号のデータファイル(発音記号の名称や意味が定義してあるファイル)の編集と、発音記号入力PADの候補を編集できます。(各トリガーにどの候補を表示させるかを決める)

10. 設定画面について

- 主要な機能の切替はサイドメニューで行えます。
 - アプリ全体に関することは「メニュー」「オプション」「設定」で表示される画面で変更できます。
- (1) フォント
- ・ 主画面の発音記号フォントとそのサイズを指定できます。
 - ・ 日本語フォントを指定できます。(Windows 10 はデフォルトが游ゴシック、それ以外はメイリオ)
 - ・ 英語フォントを指定できます。
- (2) 言語
- ・ 画面のインターフェースを英語と日本語で切替えられます。
- (3) クラスルーム
- ・ 標準では「クラス0」から「クラス5」ですが、任意の言葉に変えられます。
- (4) フォルダ
- ・ 標準で「会話」「辞書」「語彙」ですが、任意の名称に変えられます。
 - ・ 名称を使わずフォルダ名を表示することもできます。
- (5) リセット
- 1) 設定値の初期化 :
- ・ 画面サイズなどオプションを変更したけど初期値に戻したい場合に「リセット」ボタンを押して下さい。環境設定ファイルを削除し、初期値に戻します。単語帳には影響はありません。
 - ・
- 2) 辞書の更新 :
- ・ 最初のインストール以降、バージョンアップがあった場合でもプレインストールの辞書ファイルは更新しません。ユーザー様がデータを追加している可能性があるからです。
 - ・ バージョンアップ時に、私どもで更新した辞書があった場合、それらをすでにあるファイルの上に上書き更新しても良い場合、「更新」ボタンを押して下さい。
- 3) 発音記号ファイルの初期化
- ・ ツールの「候補編集ツール」で、発音記号に関する4つのファイルに変更を加えられます。
 - ・ 操作の間違いや、ツールのバグでこれらのファイルが壊れた場合など、「復元」ボタンを押して下さい。インストール時のファイルに置き換えられます。

11. Q & A

(1) 文字入力

- ・ Q : 単語帳の備考欄や、問題タイプが作文問題の指示文の欄にタイ語を入力できますか？
- ・ A : できます。方法は2つで、一つはタイ語欄で入力したものを Copy&Paste する方法です。もう一つは備考欄でファンクションキーF3 を押すと、タイ語キーボードに切り替わるので、キーボードから入力する方法です。

(2) 単語帳

- ・ Q : 単語帳を単語リストにロードした時、最後に入力した単語を見たいのですが。
- ・ A : サイドオプションの単語帳オプションで最下行表示にチェックを入れて下さい。
- ・ Q : 単語リストをダブルクリックした時、単語を追加で入れたいのですが。
- ・ A : サイドメニューの単語帳オプションでリセット入力のチェックを外して下さい。

(3) トレーニング

- ・ Q : トレーニングで正解、不正解を記憶できますか？
- ・ A : サイドオプションのトレーニング・オプションで「1回毎」または「累積する」を選んで下さい。「累積する」を選んだ場合、正誤の結果が累積されます。単語数が多い単語帳に向いています。正解不正解の結果は単語リストの背景色の違いで表示します。

(4) 画面

- ・ Q : 主画面の大きさをドラッグで変更した時、単語リストのサイズを変えたいのですが？
- ・ A : サイドオプションの画面オプションで「下伸び」にチェックを入れて下さい。

1 2. 個人情報保護について

本ソフトウェアを購入する過程または質問される過程で、私どもが知ったお客様のお名前、メールアドレスなどの個人情報は、他の用途で利用したり、他人に譲渡したりしないことをお約束いたします。

1 3. おわりに

Ver9 では、語学の習得につながるトレーニング機能に力点を置きました。

1 4. 参考文献

- ① 「ニューエクスプレス タイ語」 水野潔・鈴木玲子著 白水社
- ② 「タイ語の基礎」 三上直光著 白水社
- ③ 「タイ語の基本」 吉田英人著 三修社
- ④ 「タイ日辞典」 岡滋訓著 Voice Thailand
- ⑤ 「タイ語辞典」 松山納著 大学書林
- ⑥ 「タイ語で話したい」 馬場陽子著 白水社
- ⑦ 「Thai for BEGINNERS」 BENJAWAN POOMSAN BECKER, PAIBOON Publishing
- ⑧ 「国際音声記号ガイドブック」 国際音声学会編 竹林滋・神山孝夫訳 大修館書店

1 4. サポート

「作者の連絡先」

■ 名前： 今井 隆行

■ E-mail: imai@superscript.sakura.ne.jp

■ サイト： 名称「スーパースクリプト」

URL: <http://superscript.sakura.ne.jp/>